



内閣総理大臣賞 (2件)

内閣総理大臣賞
「個人・グループ・学校」分野

受賞者名

特定非営利活動法人ごみじゃぱん

所在地

兵庫県神戸市

受賞テーマ

無理なく容器包装廃棄物の発生抑制を実現する「減装（へらそう）ショッピング」

同 NPO 法人は、2007 年から、神戸大学の学生が主体となり、事業者・行政・大学・地域団体の協力・支援を得て、減装（へらそう）ショッピング事業（以下、本事業）を展開している。

ごみじゃぱん代表理事が座長を務めた委員会で、生活者は普段の買い物で包装ごみを意識しないが、簡易な包装の社会的なメリットを説明されると、包装の簡易な商品を選ぶとの調査結果が得られた。これを実証し、社会へ定着させることを目的として、本事業を展開している。

事業内容は、商品を生活者目線で分類、中身当り包装重量が軽い商品を減装商品として商品棚にカード等で表示し、推奨する。その後、意識（アンケート）、実際の行動（販売データ）を分析し、約 1 割程度の販売促進効果を実証した。このような事業は世界的に見ても殆どない。

2007 年に 1 店舗（コープこうべ）で 1 ヶ月間の活動を開始し、2009 年～2010 年にはダイエー社、イオン社の協力も得て、3 店舗で 12 ヶ月間実施した。

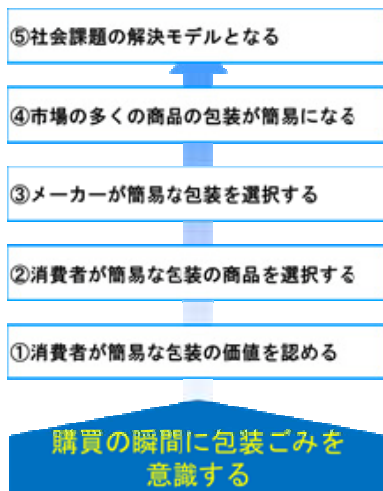
2011 年には、ダイエー社が神戸市内直営全店舗（22 店舗、無期限）で活動を開始し、本事業は実験段階を脱し、神戸市内での定着という段階となった。

また、同じく 2011 年に、山崎製パン社と協力し基準を満たす製品へのマーク印刷実験事業を開始。7 商品を半年で累計 740 万個全国販売した。商品へマークを印刷するという実績を作った他、草の根ブログで好意的に取り上げられる等、全国での認知拡大も始まっている。

2012 年にはユニー社、ドラッグユタカ社の協力により大垣市で実験開始、全国展開を目指し規模拡大中である。



(包装へマークを印刷したパン商品)



具体的な実施内容は、次のようなものである。まず消費者にどの商品が容器包装の量が少ないかを提示するために、スーパーマーケットで販売されている商品を購入し、中身を取り出し、容器包装の重量を計測して、商品ごとのデータを作成する。

次に、得られたデータを元に、その商品カテゴリー（カテゴリーは、ごみじゃぱんの任意）の中身あたりの容器包装量ランキングを作成し、上位 30%程度をごみじゃぱんの「推奨商品」とし、写真 3 のように POP で目印を付け、推奨する。さらにポスターやイベント等の啓発活動を行うことで、認知や理解度を深めている。

消費者が実際に商品を買う場において、適切な情報提示とその認知が必要であるとの考えから、現場重視型の活動を行っている。

また、新聞やテレビなどのマスメディアへの広報活動に努め、より多くの人にマークの認知と内容の理解を広めていくことで、マークの掲示されている商品の購入経験のある人を増加させていく活動を行っている。



(写真 1：容器包装の中身出しと拭き)



(写真 2：電子天秤で計測しデータ化)



(写真 3：推奨した商品に POP)



(写真 4：ポスターで説明掲示)



(写真 5：岐阜県大垣市アピタ大垣店)



(写真 6：神戸市東灘区ダイエー甲南店)

2011 年、同 NPO 法人と神戸市は「簡易包装の商品の推奨に関する協定」を結んだ。神戸市も環境に配慮した小売店舗を認定する基準として、本事業への参加を認定条件の一つとして採用するなど、この活動に協力している。